

4. アンケート調査

4.1 調査概要

4.1.1 調査目的

世田谷区立砧小学校・砧幼稚園の改築に係る基本構想について、検討の参考にすることを目的に、小学校の児童・教職員・保護者、幼稚園の教職員・保護者、近隣住民を対象に、改築に際しての大切な点や既存校舎・園舎の改善点等について意見収集を行った。

4.1.2 実施概要

調査の対象や調査方法、回収数は表 4-1 に示すとおりである。

なお、調査は平成 31 年 3 月～4 月の期間で実施した。また、近隣住民へのアンケート配布範囲は、学校の敷地境界線から建物高さの 2 倍の範囲内に掛かる街区として、図 4-1 に示す範囲とした。

表 4-1 調査実施概要

対象	調査方法	回収数	備考
児童	学校でクラス毎に配布・回収	364 件	小学校の児童
保護者	小学校：児童を通じて学校より配布・回収 幼稚園：園より配布・回収	230 件	
教職員	小学校：学校にて配布・回収 幼稚園：園にて配布・回収	48 件	
近隣住民	各戸配布／砧小学校・砧幼稚園の正門に設置の回収箱に投函、区へ FAX 又は郵送	34 件	説明会時 (3/26) に追加配布
合計		676 件	

表 4-2 主な設問内容

小学校の児童	小学校・幼稚園の保護者、近隣住民	小学校・幼稚園の職員
<ul style="list-style-type: none"> 学校の好きな場所 学校の直してほしい場所 学校の危険な場所 新校舎・園舎への要望 	<ul style="list-style-type: none"> 改築に際して大切な事項 砧小学校・砧幼稚園の特色、良い点 砧小学校・砧幼稚園の改善すべき箇所・設備 放課後の児童の居場所に関する意見 	<ul style="list-style-type: none"> 改築に際して大切な事項 砧小学校・砧幼稚園の特色、良い点 砧小学校・砧幼稚園の改善すべき箇所・設備 新校舎・園舎に必要な学習空間 授業の工夫点とそのサポートとなる空間について 放課後の児童の居場所に関する意見 屋上利用に関する意見

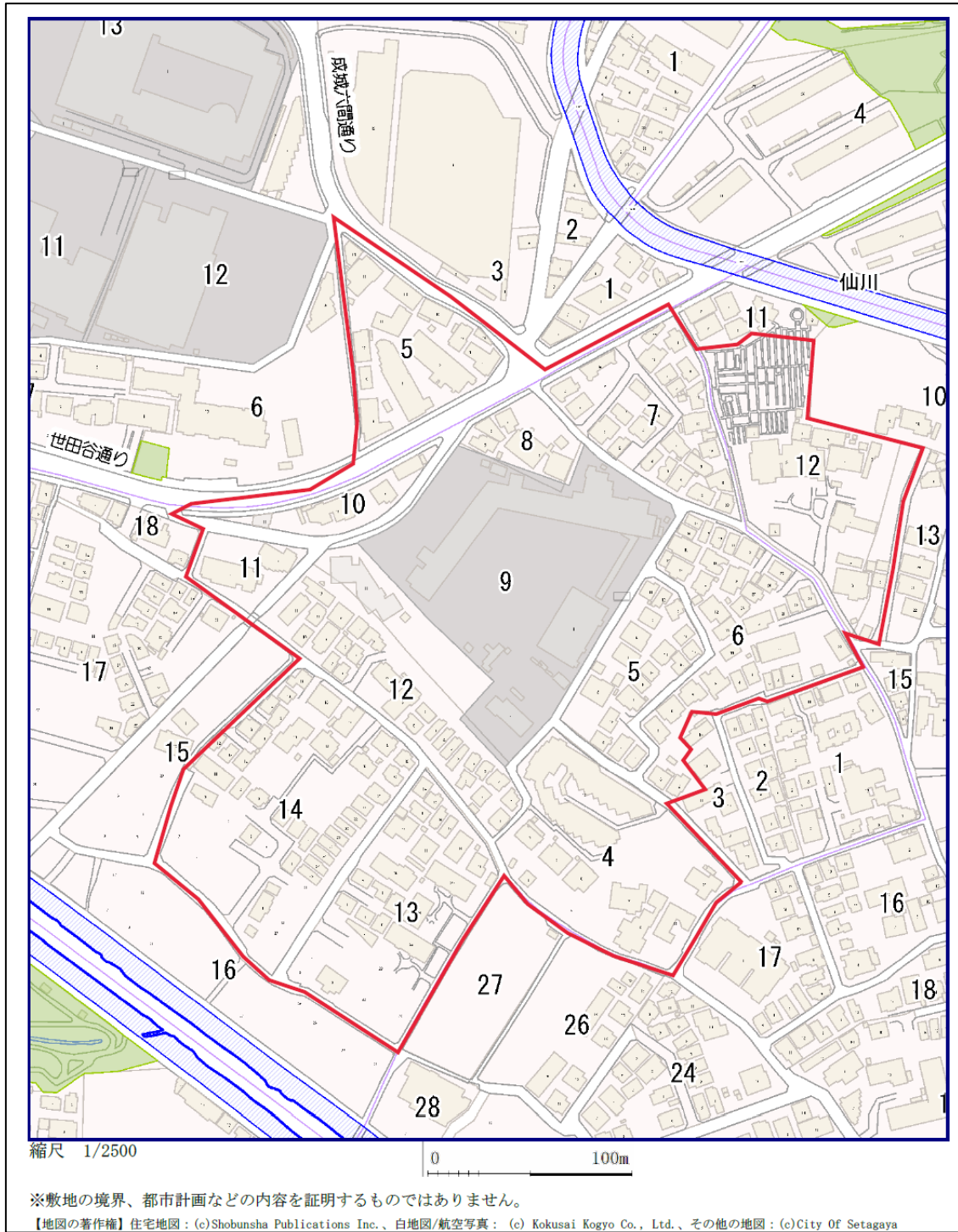


図 4-1 近隣住民へのアンケート配布範囲（赤線内）

4.2 調査結果の概要

4.2.1 児童

砧小学校の児童からの意見の概要を以下に示す。

(1) 学校の好きな場所

「校庭」の人气が一番高く、次いで「図書室」、「体育館」の人气が高い結果となった。

それぞれの好きな理由（抜粋）は、校庭が「たくさん遊べるから」、「みんなと遊べるから」、図書室が「本がたくさんあるから」、体育館が「運動ができるから」などといった意見が挙げられた。

(2) 学校の直してほしい場所

「校庭」が最も多く、次いで「体育館」、「プール」が直してほしい場所として多く意見が挙げられた。

直してほしい理由（抜粋）は、校庭が「遊具を増やしてほしい」、「広くしてほしい」、体育館が「エアコンを付けてほしい」、「雨漏りしている」、プールが「寒い」、「シャワーが冷たい」などといった意見が挙げられた。

「校庭」及び「体育館」は、好きな場所であると同時に改善を求める意見が多い結果となった。

(3) 学校の危険な場所

現在の学校で危険と感じている場所として、「廊下・階段」が最も多く、次いで「幼稚園門の坂」、「屋上」が多く挙げられた。

「廊下・階段」は、主に「ぶつかって危ない」といった理由が多く挙げられた。

(4) 新校舎・園舎への要望

新しい学校で希望することは「遊具」に関する意見が突出して多く挙げられた。次いで「「プールの広く、温水に」、「エスカレーター、エレベーターの設置」についても希望する意見が挙げられた。

4.2.2 保護者・教職員・近隣住民

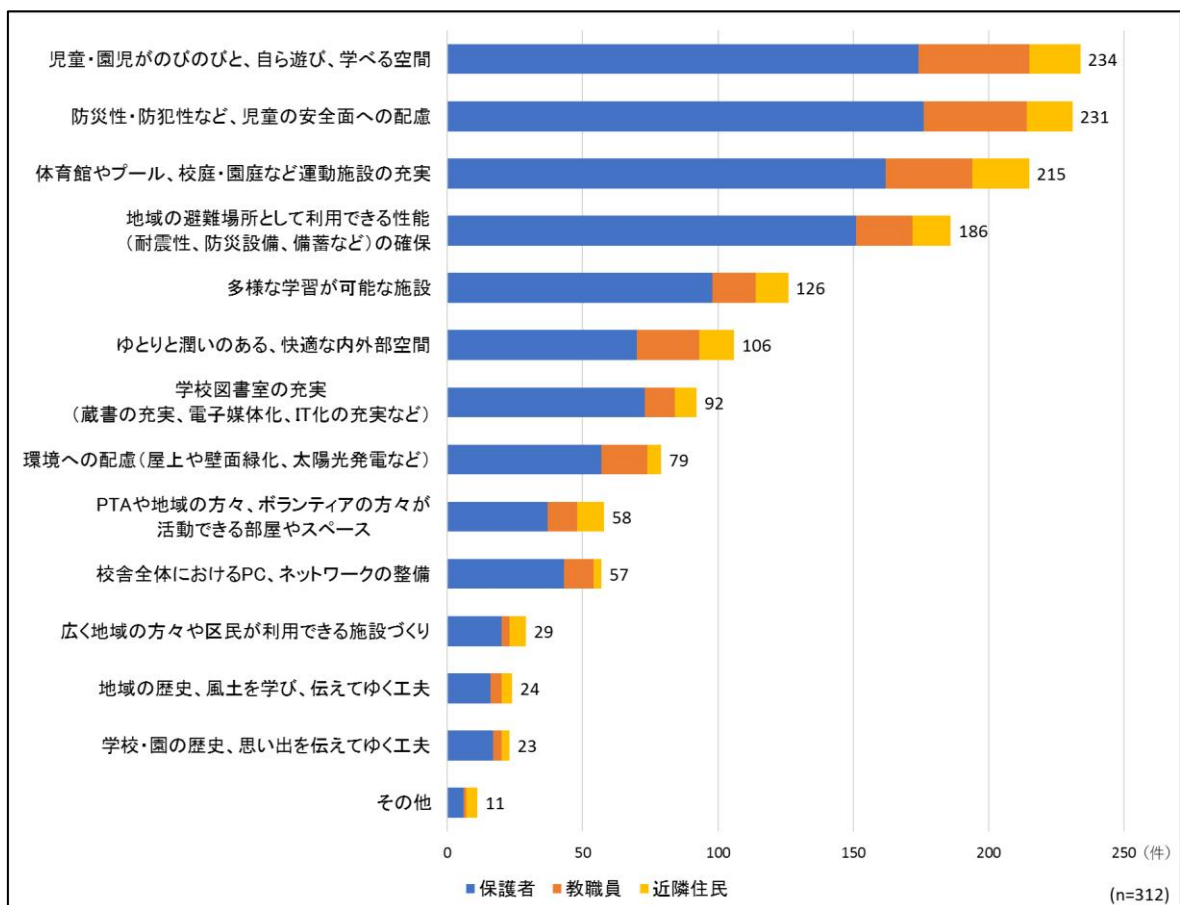
小学校・幼稚園の保護者、教職員と近隣住民からの意見の概要を以下に示す。

なお、近隣住民の回答者の半数弱が小学校・幼稚園の保護者でもあることに留意が必要である。

(1) 改築に際して大切な事項

「児童・園児がのびのびと、自ら学び、遊べる空間」との回答が最も多く、次いで「防災性・防犯性など、児童の安全面への配慮」、「体育館やプール、校庭・園庭等運動施設の充実」、「地域の避難場所として利用できる性能（耐震性、防災設備、備蓄など）の確保」との回答が多い結果となった。

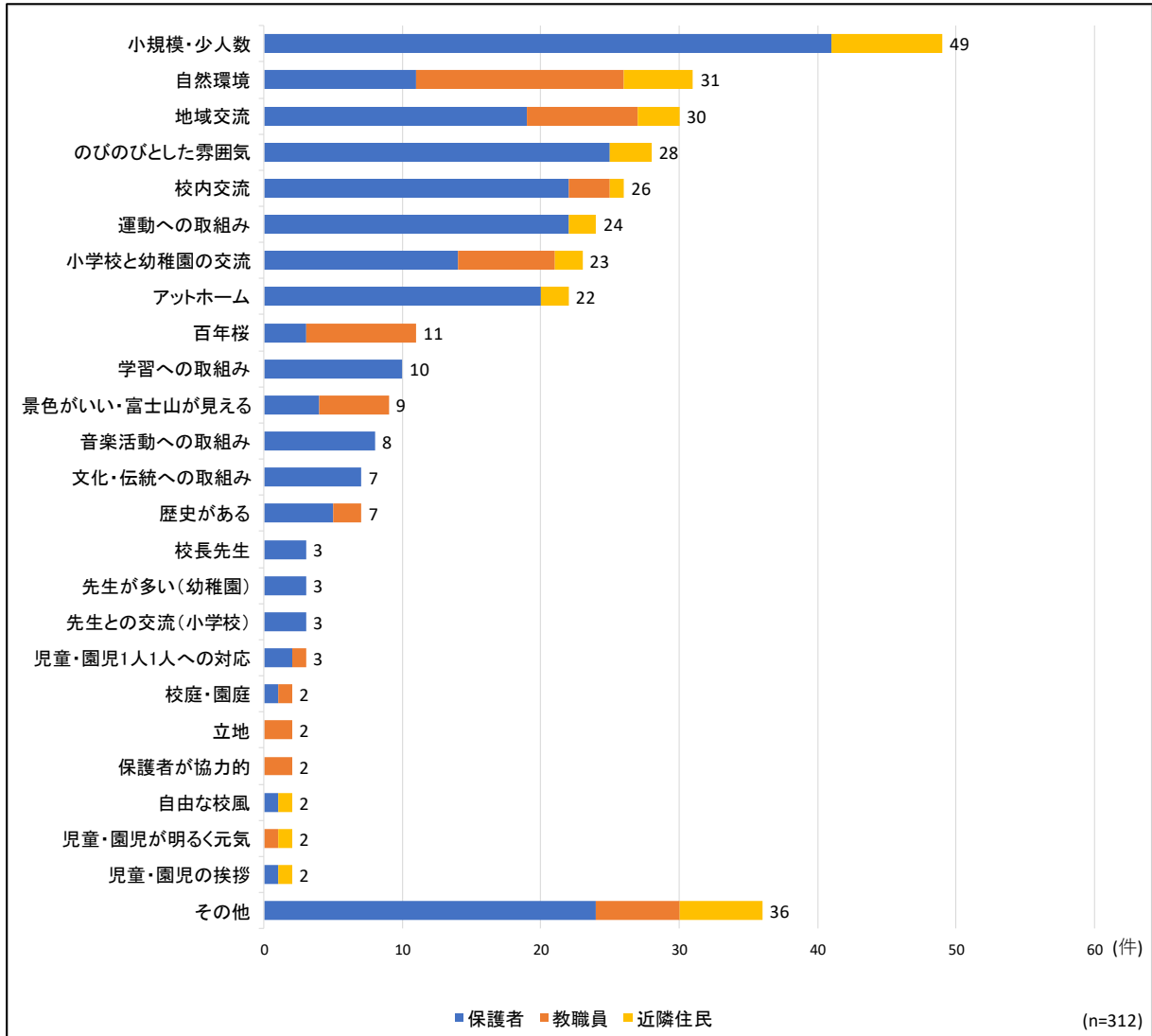
それぞれの回答について、立場ごとでの割合の差異は見られないことから、上記の項目は改築に際して重点を置く事項として共通していることが伺える。



(2) 砧小学校・砧幼稚園の特色、良い点

学校規模が小さく、児童と先生の距離が近いなど「小規模・少人数」といった意見が最も多く挙げられた。次いで「自然環境」、「地域交流」に関する意見が多く挙げられた。

「自然環境」については、他の回答と比較して教職員からの意見の割合が高く、特に教職員から砧小学校の良い点として認識されていると考えられる。



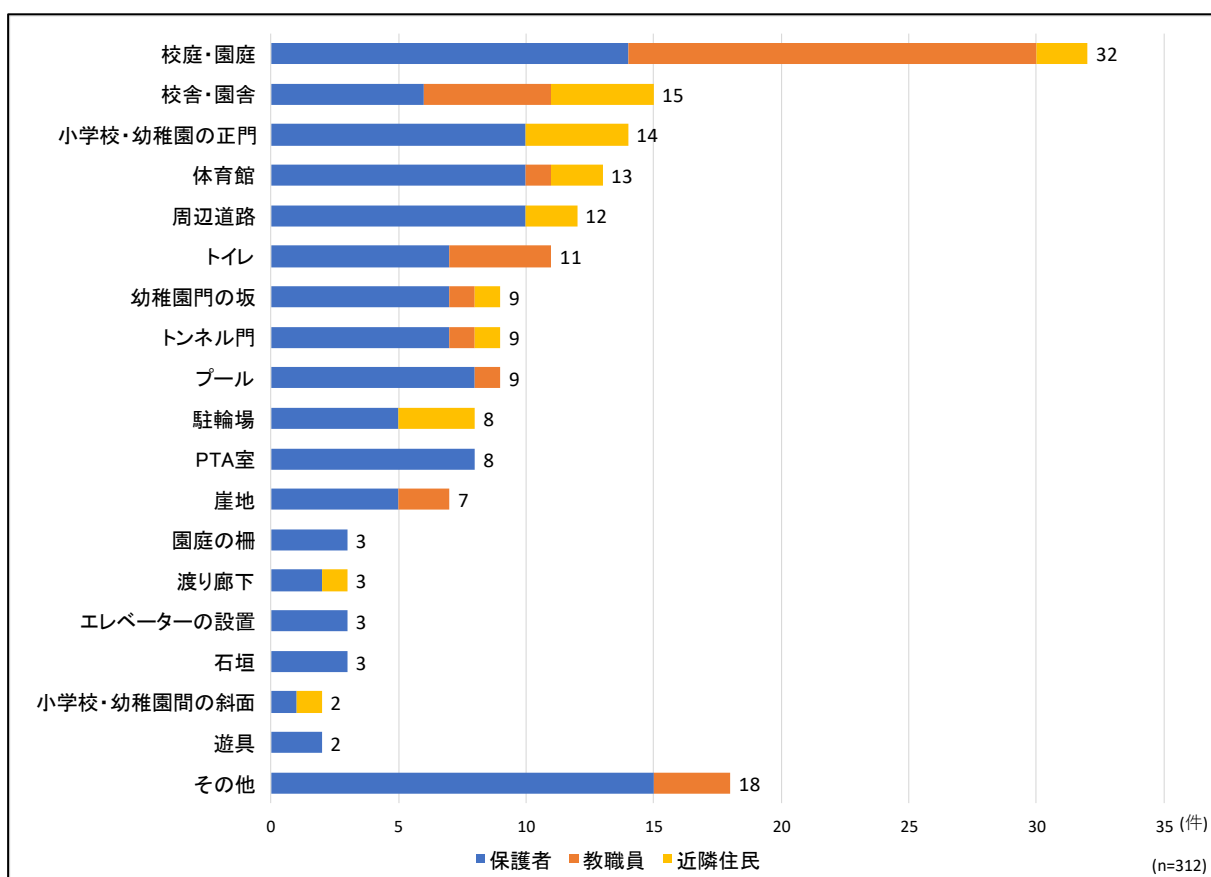
(3) 砧小学校・砧幼稚園の改善すべき箇所・設備

「校庭・園庭」に関する意見が突出して多く挙げられた。次いで、「校舎・園舎」、「小学校・幼稚園の正門」に関する意見が多く挙げられた。

「校庭・園庭」は、校庭と園庭とでは意見の内容が異なり、校庭は主に狭いことや鉄棒と柵の位置関係、砂埃についての意見が挙げられ、園庭は主に視認性の理由から園舎との位置関係への意見が挙げられた。

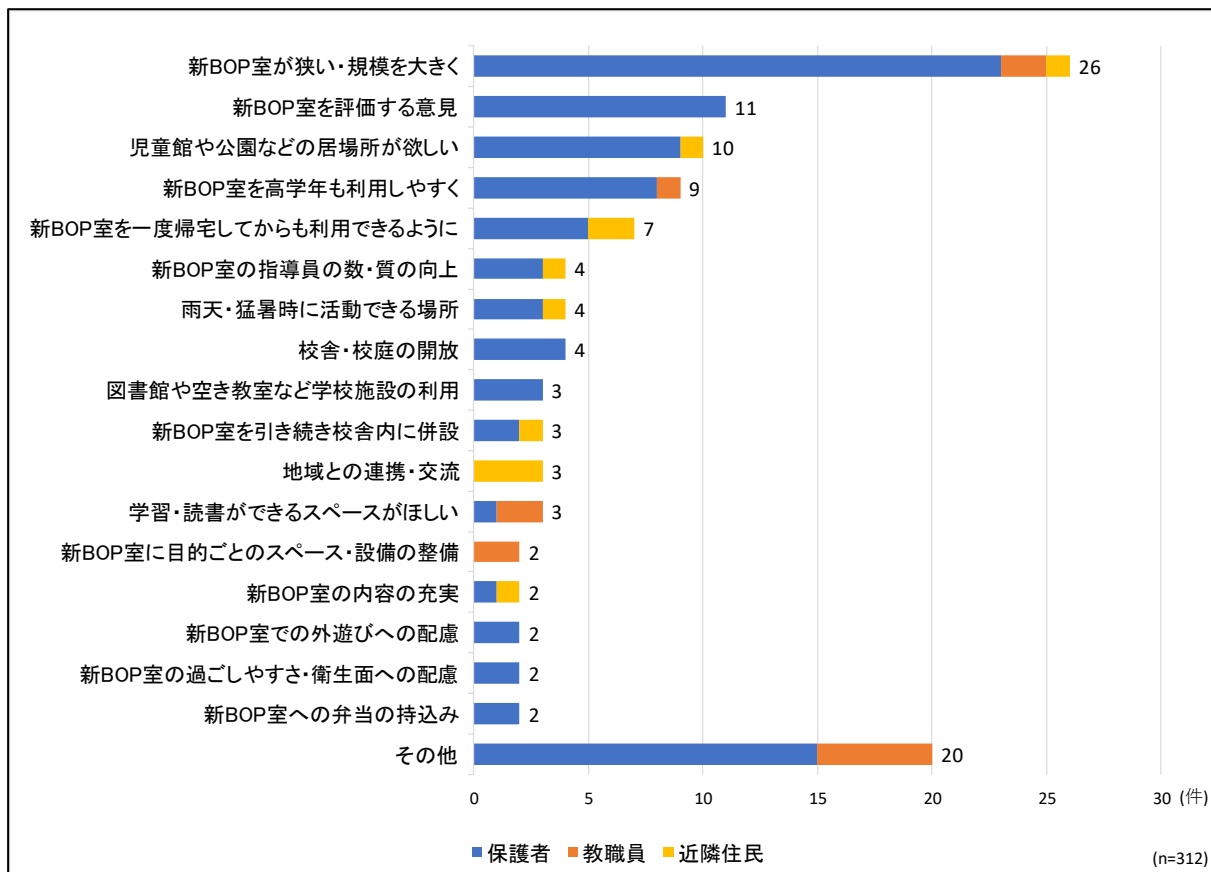
「校舎・園舎」は、主に屋内の暗さや老朽化についての意見が挙げられた。

「小学校・幼稚園の正門」は、主に小学校は防犯性の低さ、幼稚園は車道が近いことによる危険性への意見が挙げられた。



(4) 放課後の児童の居場所に関する意見

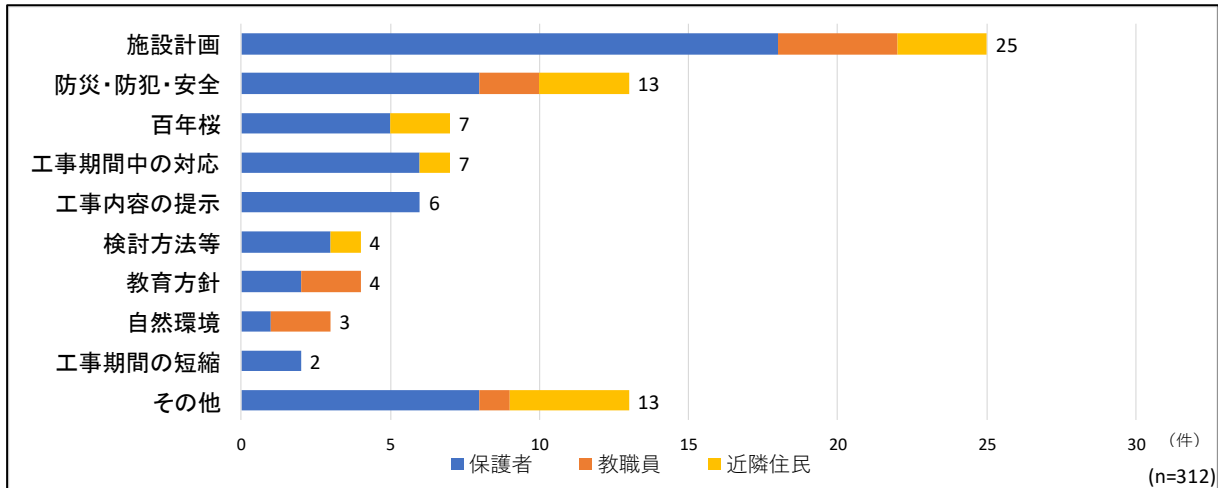
「新BOP室が狭い・規模を大きく」との回答が最も多く、次いで「新BOP室を評価する意見」、「児童館や公園などがほしい」、「新BOP室を高学年も利用しやすく」といった意見が多く挙げられた。



(5) 自由意見

日当たりや通風への配慮、広い校庭・園庭の整備や体育館・プールの校舎内配置などの「施設計画」に関する意見が多く挙げられた。

また、周辺道路の安全性やセキュリティの確保などの「防災・防犯・安全」、「百年桜」の保全・活用、工事期間中の安全性や児童の学校生活、給食などの「工事期間中の対応」に関する意見も挙げられた。



(6) その他の設問（教職員）

小学校・幼稚園の教職員に対しては、上記の4つの設問以外に、「新校舎・園舎に必要な学習空間」、「授業の工夫点とそのサポートとなる空間について」、「屋上利用に関する意見」についても調査を行った。

1) 新校舎・園舎に必要な学習空間

「行事や学習の利用などを目的とした多目的スペース」や「配慮が必要な児童のための諸室」についての要望が挙げられた。

2) 授業の工夫点とそのサポートとなる空間について

小学校の教職員からは、具体的な工夫点は挙げられなかったが、「学年が集まれる大きな部屋」を求める意見が挙げられた。

幼稚園の教職員からは、絵本が揃っていることや児童が調理する取組を行っていることから、「専用の諸室（読書スペース、調理スペース）」を求める意見が挙げられた。また、「雨天時に遊べるスペース」を求める意見も挙げられた。

3) 屋上利用に関する意見

「屋上緑化・屋上庭園」や「太陽光発電」に関する意見が比較的多く挙げられた。

「屋上緑化・屋上庭園」は、「学習の一環として」、「太陽光発電」は、「災害時の利用や学習教材の一環として」といった意見が挙げられた。

4.3 まとめ

4.3.1 共通事項について

全ての立場で共通する意見として、「校庭・園庭」に対する不満や改善の要望が挙げられた。

校庭については、児童や保護者、教職員で共通して「狭い」といった意見が挙げられた。園庭については、園舎との位置関係（園舎からの視認性の悪さ）に関する意見が挙げられた。

なお、共通の場所ではないが、「校庭・園庭」の他に狭い・不足しているという意見として、「新 BOP 室」、「多目的スペース」が挙げられた。

4.3.2 立場ごとで特徴的な意見について

(1) 児童

児童からは、遊具や体育館、図書室といった、普段、教室以外で遊ぶ場所、過ごす場所についての意見が多く挙げられた。

(2) 保護者

保護者からは、小学校・幼稚園の正門のセキュリティの弱さや周辺道路の危険性といった防犯性・安全性に関する意見が多く挙げられた。

(3) 教職員

教職員からは、自然環境を評価する意見が多く挙げられた。

また、教職員に限定した設問に対し、教室環境についての意見（学年が集まって活動できる空間や様々な学習や行事に使える多目的スペース、配慮が必要な児童が休める空間、それ以外の児童も落ち着くことができる部屋）が挙げられた。

(4) 近隣住民

近隣住民からは、幼稚園の正門が前面道路と近く危険であること、小学校の正門の場所が分かりにくいといった要望が挙げられた。

4.3.3 アンケート調査結果を踏まえた今後の設計で考慮すべき事項

- ・ 快適に利用できる校舎・校庭・遊具などの整備や自然環境に配慮した計画
- ・ 児童、職員の動線や視認性に配慮した施設配置
- ・ 児童の安全・安心に配慮した通学動線やセキュリティ対策
- ・ 多目的な利用に対応できるスペースの確保を考慮した諸室計画
- ・ 工事期間中の児童の安全に配慮した工事計画